

企画テーマの事業詳細



絵本のまち板橋

「絵本のまちひろば2025」

〔開催期間：2025年10月 第二か第三の土日(予定)〕

1. 「絵本のまち板橋」とは

板橋区では、友好都市であるイタリア・ボローニャ市との交流や、印刷産業が多く立地する区の特徴を活かし、板橋ならではのブランドとして、絵本文化を発信しています。

【参考：イタリア・ボローニャ市との交流】

板橋区立美術館で「ボローニャ国際絵本原画展」を開催して以来交流が続き、友好都市交流協定を締結。中央図書館に併設される「いたばしボローニャ絵本館」では、同市から寄贈された約3万冊の絵本を収蔵。ボローニャ児童図書展事務局からの児童図書寄贈を受けて「ボローニャ・ブックフェアinいたばし」や、外国語絵本の翻訳作品を募集する「いたばし国際絵本翻訳大賞」を毎年実施している。

【参考：板橋区の印刷製本業について】

板橋区は東京都内の中でも特にものづくりが盛んな地域であり、令和3年度の統計調査では、製造出荷額等の項目で、23区中第3位(2兆9,986億円)となっています。また、印刷・同関連業についても、23区中2位(全国で3位 823億円)で印刷製本業に強い地域です。

▶「絵本のまち板橋」ホームページ

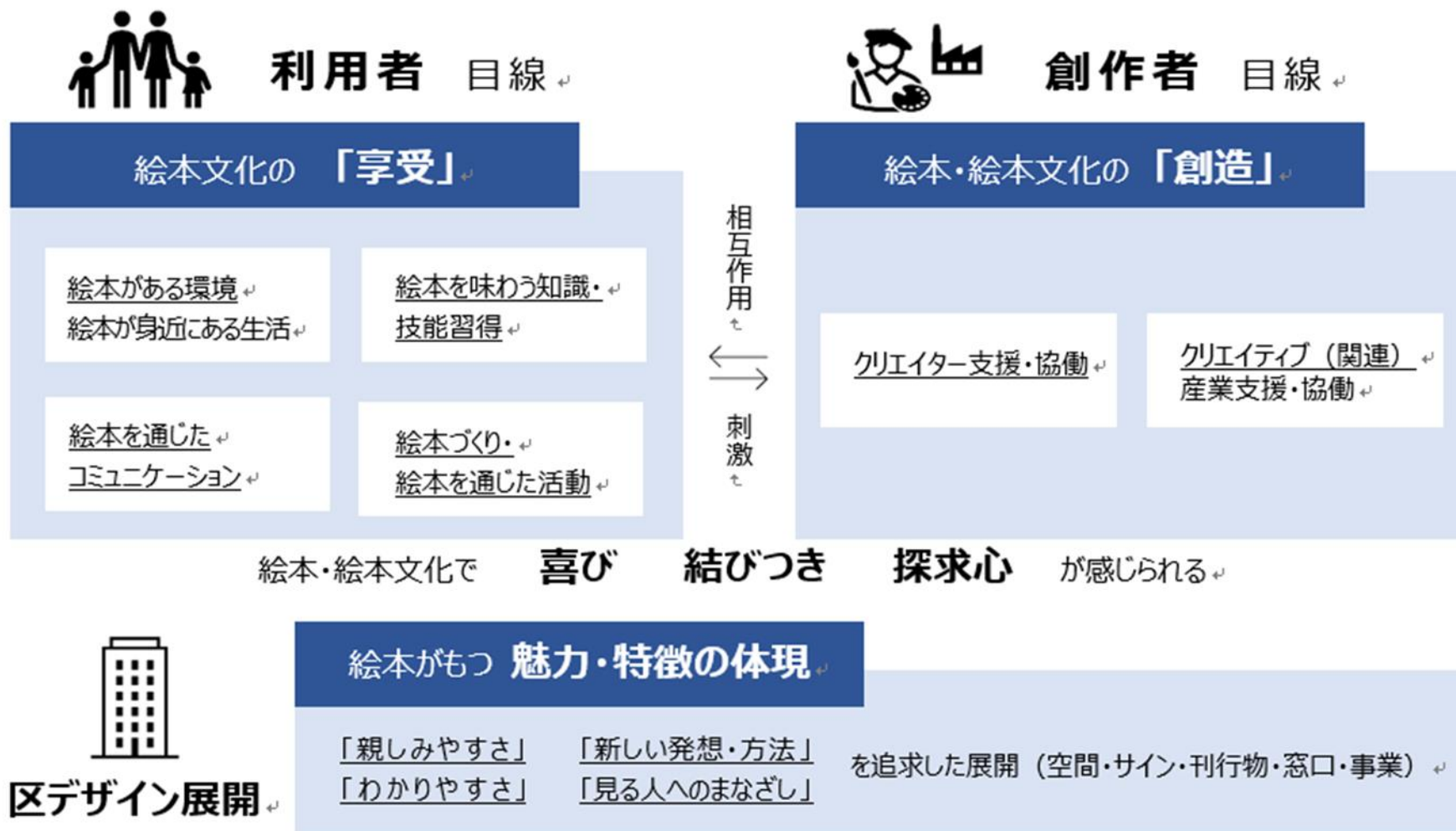
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/promotion/1025922/index.html>



2. 「絵本のまち板橋」推進に向けた区の方針について

資料 1

「絵本のまち板橋」推進に向けた方向性



3. 依頼事項

前項に記載の特徴・区の取組の方向性をふまえ、「板橋＝絵本のまち」であることを視覚的に分かりやすく表現するとともに、多様なコンテンツ（「絵本のまち板橋」の特徴である国際交流関係や印刷製本産業に関するコンテンツは必須です。）を取り入れて、来場者が「絵本のまち板橋」を体感できるようなイベント企画について、提案をお願いします。

- ・過去3年間で実施した「絵本のまちひろば」の主な来場者は、区内の子育て世帯が最も多いです。そうした区内子育て層（絵本に関心がある層）はもちろんのこと、より広い層に「絵本のまち板橋」を認知してもらうため、区内の「絵本のまち板橋」を認知していない層や、区外の絵本ファン層に魅力的と感じてもらえるコンテンツを提案してください。また、イベントに訪れたいと思うような広報物の作成や、情報発信手法についても提案してください。
- ・板橋第一中学校体育館、校舎を主なイベント会場として提案し、各会場（体育館と校舎）を周遊できるよう、導線を意識してください。また、全会場で一体感のある空間設計をお願いします。 ※板橋第一中学校の詳細については資料3を参照
- ・使用する会場の空間を活かした企画をお願いします。
体育館...多くの人が集い、賑わいのある空間
校舎内...各教室など、個室で落ち着いた空間

4. (参考)過去の「絵本のまちひろば」の様子

資料 1



R6「絵本のまちひろば」入口



R6制作物(デザインは別委託)



R6会場内の様子①



R6会場内の様子②

4. (参考)過去の「絵本のまちひろば」の様子

資料 1



R6物販ブースの様子



R6ステージプログラム



R6校舎内コンテンツ(段ボール迷路)



R6校舎内ワークショップブース

4. (参考)過去の「絵本のまちひろば」の様子

資料 1



R5会場設営後の様子①



R5会場設営後の様子②



R5会場設営後の様子③



R5絵本モニュメント中面(制作物)